

【うきは市】  
校務DX計画

平成23年度から教員1人1台の校務用端末の整備を完了し、平成28年度に2校のICT推進校を指定した際、校務の効率化を図るため、校務支援システムを導入した。

また、令和元年度からGIGAスクール構想にのっとり令和3年度末までに児童・生徒1人1台タブレット、高速通信ネットワークの整備を整え、さらに、教職員の働き方改革を推進する上から令和2年度から教職員用グループウェアを導入した。

このような取組をさらに進めるため、文部科学省の「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検を実施し、以下の点に留意しつつ取り組んでいく。

### 1. FAXの原則禁止とペーパーレス化の推進

FAXの原則禁止とペーパーレス化の推進は、校務の効率化、教職員の働き方改革を達成するための大きな要素となる。令和7年度中にFAXの原則禁止に向けて教職員用グループウェアの利活用を推進し、学校間、教員間のメッセージ、データのやり取り等を日常化し、FAXの方が電子メール等より効果的な場合を除き、FAXの原則禁止及びペーパーレス化に向けて取り組む。

### 2. アンケートのペーパーレス化

もう一つの取組として、令和7度中に研修会のアンケートや児童・生徒、保護者（wifi環境のない場合を除く）に対しての調査・アンケート集計等のペーパーレス化に取り組む。このことにより、教員の事務業務の軽減、業務時間の短縮等に繋がるよう取り組む。

### 3. 学校と保護者間の連絡の効率化

学校から保護者への連絡（災害時の緊急連絡、学校・学級通信等）のペーパーレス化として、令和7度中に保護者連絡サービスを全小・中学校が行えるよう働きかける。

また、保護者からの欠席連絡についても保護者連絡サービスを活用して、教職員の働き方改革を推進する。